

犯罪・被害者心理学から考える 自主防犯活動

～神奈川県 人間科学部 人間科学科 阿部政孝 特任教授のお話を聞いて～

■ 発表の流れ

- 犯罪者や被害者になりやすい人の特徴
- 犯罪に至るまでの過程や更生過程で私たちができること
- 犯罪者・被害者になりかけてる人に対してできる対処法
- おわりに

犯罪者や被害者になりやすい人の特徴

防犯活動の目的と水準

目的

犯罪の発生を未然に防止する

水準

一次予防 主な対象：一般市民 (ex. 県→県民)

二次予防 主な対象：犯罪に及ぶリスクが高い人
(ex. 警察の街頭補導)

三次予防 主な対象：犯罪を犯した人 (再犯を防ぐ)
(ex. 矯正教育などの教育的指導)

■ 自主防犯活動の種類

- ① 地域パトロール：地域住民主体
- ② 拠点監視：犯罪リスクの高い範囲を監視
- ③ 啓発や情報提供：防犯情報の周知
- ④ 環境整備：環境犯罪学などに基づいた設計

犯罪者や被害者になりやすい人の特徴

防犯活動の学術的背景理論

⇒主に「日常生活理論」がベース

↓その中で

犯罪発生には3要素があるとされます。

- ① 潜在的犯罪者
- ② 犯罪対象として適当なもの
- ③ 守り手の不在

→これが特に**防犯活動**と関係

犯罪者や被害者になりやすい人の特徴

犯罪者になりやすい人の特徴

⇒主に二次予防で行う

↳専門的知見がないと根拠のない対応になってしまう

※犯罪者になりやすい人

⇒リスク要因（BIG 4）を多く持っている人

- ① 犯罪歴
- ② 反社会的交友関係
- ③ 反社会的認知
- ④ 反社会的パーソナリティ

犯罪者や被害者になりやすい人の特徴

■ 被害者になりやすい人の特徴

人の特性・性格・生き立ち ⇒ 間接的要因

↓ならば...直接的要因は？

日常のライフスタイルや生活習慣が直接的要因

自主防犯活動では

⇒上記から日頃の行動が主な原因となるので、地域で発生している諸犯罪の情報と共に啓発していく必要がある。

犯罪に至るまでの過程や更生過程で私たちができること

犯罪に至るまでの過程や更生過程で私たちができること

犯罪に至るまでの過程

⇒ 生物学的要因 × 環境要因等の間接的要因



犯罪者になりやすくなる

※ 生物学的要因

例) 一卵性双生児 : 片方が犯罪者となると、もう片方が犯罪に手を出すリスクが高まる。

聴覚過敏の人 : 騒音環境下などで過激な対応をとりやすくなる。

犯罪に至るまでの過程や更生過程で私たちができること

更生過程での留意点

⇒一般に、刑務所などで矯正教育等を受けながら更生していく。

ただ...更生を妨げる要因として

- 周囲の目
- 社会的孤立・孤独 などがある

↳ 「防犯」を考える上では、こうしたことも認識する

ことが必要！

犯罪に至るまでの過程や更生過程で私たちができること

若い世代防犯ボランティアができること(阿部教授による)

前提：犯罪に至る過程や更生過程において、地域・コミュニ

ティの役割が重要！

↳そこでは、包括的役割が重要となる

上記のような人たちは、目的意識が強い人たちなので

防犯活動の環境整備で、包括的役割を担うことができる！

① 物理的：ex) 環境美化活動

② 人的：ex) レクリエーション活動

犯罪者・被害者になりかけてる人に対してできる対処法

犯罪者・被害者になりかけてる人に対してできる対処法

■ 犯罪者になりかけている人への対処

犯罪発生の3要素に目を向けた犯罪を対象にした研究では...

注視された・声をかけられた



犯罪を諦めた大きな理由の1つ

これは、守り手としての「人の存在」「人の目」

が役立つということ

■ 被害者になりかけている人への対処

- 被害リスクがあることを気づかせるために声掛けをする

(= 潜在的な被害の防止)

→ex) パトロール中にバックから財布などが見えている人への注意喚起

- 見回りを兼ねた巡回で多角的観点から防犯活動をする

(ニーズなどを聞き、他機関と協力)

→ex) 詐欺被害：一人暮らしの高齢者

おわりに

Q.防犯活動の一次予防にあたるのは、どれか

- ① 警察の街頭補導
- ② 防犯パトロール
- ③ 矯正教育
- ④ アンケート

解答：② 防犯パトロール

解説

1次予防とは一般市民を対象にした防犯活動のことを指します。

①「警察の街頭補導」は犯罪リスクが高い人を対象とした**2次予防**

③「矯正教育」は再犯を防ぐ**3次予防**にあたります。

④「アンケート」は**自主防犯活動ではありません**。

Q. 自主防犯活動の種類でないのは

- ① 地域防犯パトロール
- ② 啓発や情報発信
- ③ 環境整備
- ④ 経済活動

解答：④ 経済活動

解説

経済活動は**自主防犯活動にあたりません。**

自主防犯活動の種類としては

- 啓発
- 拠点監視
- 防犯パトロール
- 環境整備

の4種類があります。

Q. 犯罪者になりやすい人の
リスク要因でないのは

- ① 反社会的パーソナリティ
- ② 反物質
- ③ 犯罪歴
- ④ 反社会的認知

解答：② 反物質

解説

リスク要因は

- **反社会的交友**
- **反社会的パーソナリティ**
- **反社会的認知**
- **犯罪歴**

の4要素からなります。

Q. リスク要因のうち、反社会的
パーソナリティに当てはまるものは
どれか

- ① 優しい
- ② うるさい
- ③ 自分中心
- ④ 賢い

解答：③ 自分中心

解説

反社会的パーソナリティとは**自己中心的であったり、社会の規則を守らなかつたり**することを指します。

Q. 被害者になりやすい人について
「性格」は犯罪に巻き込まれる

間接的要因？ 直接的要因？

解答：間接的要因

解説

性格は犯罪に巻き込まれる直接的な原因とはなりません。

<具体例>

直接的要因：人の通りが少ない夜道を歩く

間接的要因：怒りっぽいなどの性格、性別

Q. 犯罪者になりかけた人が
犯罪をあきらめた理由で、**適切でないのは**

① **人の目**

② **人の存在**

③ **周りからの声かけ**

④ **周囲の匂い**

解答：④ 匂い

解説

犯罪を諦めた理由としては**人の存在や目、声をかけられた**などが多いです。

Q. 犯罪の発生を未然に防止する
二次予防の対象となるのは

- ① 犯罪を犯した人
- ② 犯罪リスクが高い人
- ③ 歩くのが遅い人
- ④ 身長が高い人

解答：② 犯罪リスクが高い人

解説

防犯活動の2次予防とは犯罪リスクが高い人を対象に行う活動を指します。

例としては**警察の街頭補導**などがあります。

Q. 今日の研修会は自主防犯活動の種類に
おいて何にあたるか

解答：啓発や情報提供

解説

皆さんに自主防犯活動について情報提供しています。

また、皆さんがここまで足を運んで話を聞いたという行為も自主防犯活動になります